

特別講座



赤坂憲雄氏講演会

～小さき者たちの物語～

4月25日(土) 13:30～

昭和村公民館 2階研修室

参加無料

どなたでもお気軽にご参加ください

主催：会津学研究会

後援：奥会津書房 問い合わせ：0241-52-3580



赤坂憲雄氏 (あかさかのりお)

民俗学者、学習院大学教授、福島県立博物館前館長

赤坂憲雄氏は民俗学者として、従来の枠組みにとられない「東北学」を提唱し、被災地の復興支援や日本文化の再解釈に深く携わってきました。



核心となる思想「東北学」の提唱：東北を単なる「辺境」ではなく、独自の歴史や文化を持つ「中心」として捉え直す学問研究スタイル徹底したフィールドワーク（現場を歩くこと）と、宮崎駿や岡本太郎などの現代文化と古典・民俗を結びつける視点
社会的活動 東日本大震災復興構想会議 委員として、被災地の文化再建に貢献

3つの活動の柱

① 東北学の確立

1999年に雑誌『東北学』を創刊し、中央集権的な日本史からこぼれ落ちた「もう一つの日本」を掘り起こしました。

② 震災と復興への関わり

福島県立博物館の館長を務める中で、震災後の記憶の継承やコミュニティの再生に尽力しました。

③ 現代的な「知」の再構成

ジブリ作品を論じた『ナウシカ考』や、食と性を民俗学から解いた『性食考』など、身近なテーマを学術的な深みで読み解く著作が多数あります。



○ 代表的な著書

『東北学／忘れられた東北』：氏のライフワークである東北研究の代表作。

『岡本太郎の見た日本』：芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した、日本文化論の傑作。

『ナウシカ考』：現代アニメーションを神話・民俗の視点から分析。

